

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	介護支援課				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり	主管課長	菊池 義博				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	介護予防活動に資する活動をしている団体や地域包括支援センター	意図	リハビリテーション専門職の助言や指導を受ける事で、より効果的なケアマネジメントや介護予防活動の展開ができる。
事業内容	地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、住民運営の通いの場や地域ケア会議等にリハビリテーション専門職の関与を促進する。			
事業開始から現在までの状況変化	H27年4月の介護保険法の改正により地域支援事業に位置づけられた。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	リハ職の地域ケア会議への関与				
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）			
事務事業の総コスト(a=b+c)			1,546,000	介護予防啓発事業として2回市民向け講座を実施。 地域の介護予防を推進する役割を担っている「流山市介護度重症化予防推進員」への研修1回。 ケア会議出席7回。 H28年3月に市内のリハビリテーション専門職の職能団体が立ち上がり、「地域リハビリテーションにおけるリハ職の役割」についてをテーマとした研修会に協力し共通理解を図った。			
事業費(b)(円)			40,000				
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)			1,506,000				
人役・職員(人)			0.20				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	新規事業	③取組の課題	27年度については総合事業の展開方法やリハビリ専門職の活用方法についての検討に時間を要したため、積極的な事業展開が出来なかった。
②今年度(H27)に実施した取組	新規事業	④今後の改善計画	市の事業について理解を得るためリハビリ専門職向けの研修会を開催する。リハビリ専門職への依頼事項を取りまとめ、協力体制を確立する。